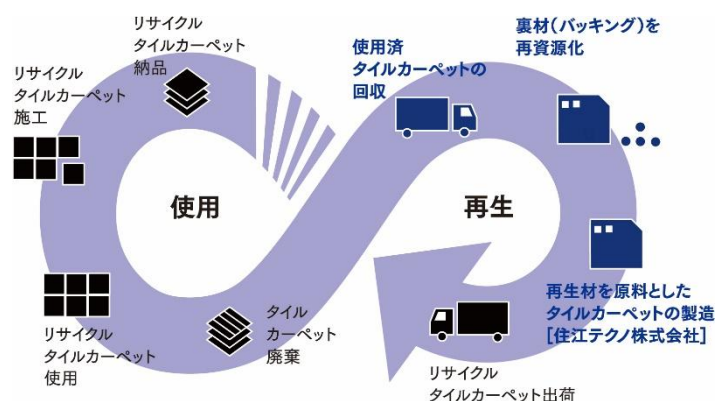


長年培ってきたリサイクル技術とネットワークを強みに動静脈連携の一端を担う

SUMINOE 株式会社は、主力製品である PET ボトル由来繊維「スミترون®」や水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®（エコス）」等、原糸から製品まで一貫製造する技術でサーキュラーエコノミーに貢献する



▲PET ボトル由来繊維「スミترون®」



▲ECOS® Recycle System

* SUMINOE における環境への取り組みの歴史は長く、カーペットやカーテンの生産が加速した約 50 年前に、排水と煤煙処理に配慮した無公害型の奈良工場を建設したことから始まり、1989 年には使用済み PET ボトル由来の再生ペレットを 50%以上含むポリエステル長繊維「スミترون®」の生産や、使用済みタイルカーペットを同一製品間で循環させるスキーム「ECOS® Recycle System」、水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®」等、設備、製品、リサイクルの仕組み構築のノウハウを蓄積してきた。

* 近年はトヨタ自動車と連携し、トヨタ自動車の社内で回収した PET ボトルを「新型ランドクルーザー 250」のシート表皮に生まれ変わらせる世界初の資源循環スキームの一端を担っている。PET ボトルを車のシート表皮にする際の強度や質感の課題を同社が長年蓄積する技術で解決し本取り組みが実現、従来品との比較では製造時の CO2 を約 10%削減している。



▲トヨタ自動車で回収した PET ボトルを同社のランドクルーザー 250 のシート表皮に循環させる

背景・きっかけ

- * 従前から「K（健康）K（環境）R（リサイクル）+A（アメニティ：快適さ）」の開発の基本理念のもと、メーカーの社会的責任として自社商品の環境負荷低減に取り組んできた。
- * 2022年に滋賀銀行の実施する「PETボトル再生マット」プロジェクトに参画、動静脈連携の一端を担い、地域の循環型社会にも貢献してきたノウハウがトヨタ自動車との取り組みにもつながっている。

取り組みのポイント

▶リサイクル原料を使用した製品に関する幅広い知見とネットワークを活かす

- * 原系から製品まで古くからリサイクル製品を製造してきた知見を武器に、自動車業界などに求められる高い品質（強度や質感）をクリア。また、再生材を使用した製品製造に欠かせないプレーヤーである、高品質のリサイクル材を供給するリサイクラーとのネットワークを全国に持ち、再生材の品質に関する調整も都度行っている。



▲調達元であるリサイクラーのペレット設備

今後の展望

▶再生材を使用した製品を様々な業界に広げる

- * 同社では ESG 経営を推進する中、中長期経営目標「SUMINOE GROUP WAY 2022～2024～2027」に取り組み、「エコチャレンジ」の中で再生資源利用率の向上を指標として掲げ、グループ全体で環境への取り組みを進める。
- * 近年では、ALLIANCE FOR THE BLUE の取り組みの一つである廃棄漁網由来の再生ナイロンを使った鞆の製作に参画。北海道で廃棄された漁網の再生ペレットを使用したナイロンの紡糸と生地製の織造を担当した。今後も「スミترون®」や「ECOS®」で培った技術を活かし、社会課題解決の一翼を担うべく、環境意識の高い企業や業界との協業をさらに広げる。

参考ページ

SUMINOE HP (<https://suminoe.co.jp/ecopro/>) (<https://suminoe.co.jp/csr/esg/env/>)

トヨタ自動車 HP (<https://global.toyota/jp/sustainability/>)

滋賀銀行 CSR リポート 2022 (https://www.shigagin.com/pdf/CSR2022_p05-06.pdf)

企業概要

SUMINOE 株式会社

所在地 大阪府大阪市中央区南船場三丁目 11 番 20 号

資本金 95 億 5 千 4 百万円

事業内容 インテリア事業（カーペット、カーテン、壁紙、各種床材など）

自動車・車両内装事業（自動車・バス・鉄道車両等の内外装材）

機能資材事業（電気カーペット、消臭関連商材、航空機の内装材など）